令和８年度

市政モニターアンケート調査結果
【　感震ブレーカーについて　】

長　崎　市

予防課

１．調査の目的

市民の安全を守るための防火防災対策として、感震ブレーカーの認知度向上と普及促進を図るため、市民の感震ブレーカーに対する認識、関心度、普及の課題等を把握し、今後の広報活動へ活かすための参考とさせていただくためにアンケートを実施しました。

２．調査の概要

調査期間：令和８年８月24日　～　令和８年９月４日
送付数　：294人
回答率　：91.8%（270人）
（郵送回答　150人（55.6%）、インターネット回答　120人（44.4%））

３．調査結果

感震ブレーカーについて、「初めて聞いた」が63.0%となっており、いまだ認知度が低いことが分かりました。また、設置状況についても「わからない」が53.4%となっていることから、感震ブレーカーの必要性や効果、設置状況の確認方法などについて、分かりやすく周知する必要があることが分かりました。

設置における課題として、「購入・設置費用が高額である」が44.8%、「設置方法が分からない・難しい」が 32.1%となっています。また、設置を検討するためには、実際の効果や事例、費用、購入・設置方法などの具体的な情報が求められていることから、費用面と情報面の双方が設置に向けた課題であることが分かりました。

以上の結果を踏まえ、市民の皆さんが感震ブレーカーの必要性を理解し、設置を検討できるよう、効果や種類、費用、購入・設置方法などの情報発信を充実させるとともに、費用負担の軽減を含めた効果的な普及促進策について検討を進め、感震ブレーカーの認知度向上と普及促進に取り組んでまいります。

４．調査結果の見方

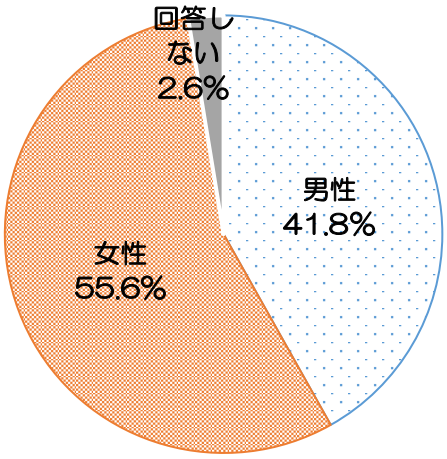
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第２位を四捨五入して、小数点第１位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N＝〇〇人」で表現しています。

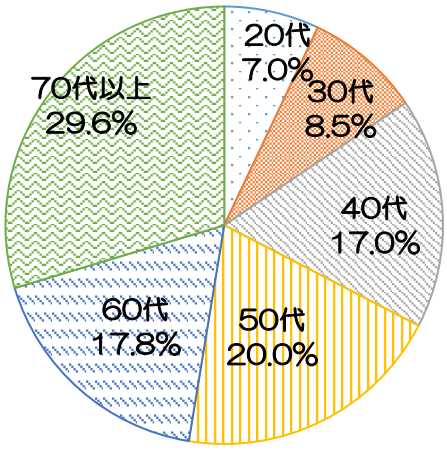
問１　あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	113 人	41.8%
女性	150 人	55.6%
回答しない	7 人	2.6%
合計	270 人	100.0%



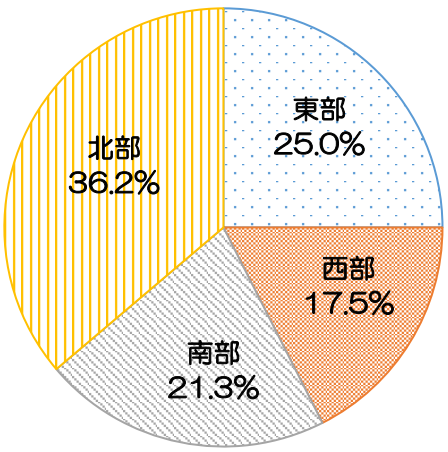
問２　あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20 代	19 人	7.0%
30 代	23 人	8.5%
40 代	46 人	17.0%
50 代	54 人	20.0%
60 代	48 人	17.8%
70 代以上	80 人	29.6%
合計	270 人	99.9%



問３　お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	67 人	25.0%
西部	47 人	17.5%
南部	57 人	21.3%
北部	97 人	36.2%
合計	268 人	100.0%

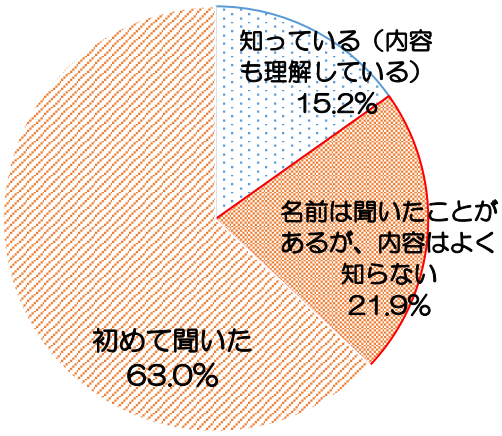


（無回答　２人）

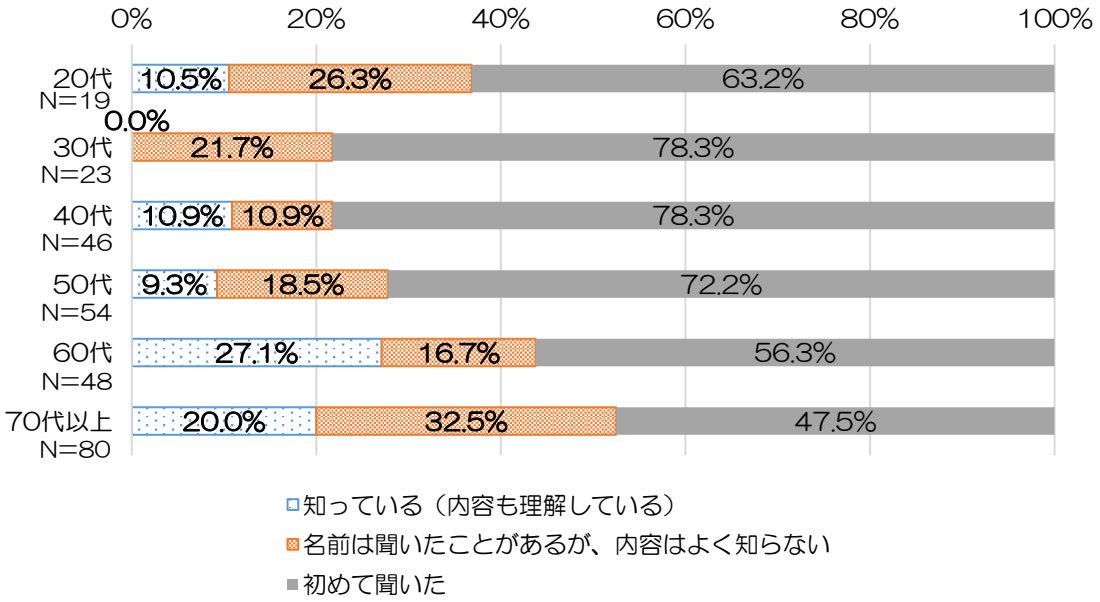
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問１３　感震ブレーカーをご存じですか。（当てはまるものを１つ回答）

選択肢	回答者数	割合
知っている（内容も理解している）	41 人	15.2%
名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	59 人	21.9%
初めて聞いた	170 人	63.0%
合計	270 人	100.1%



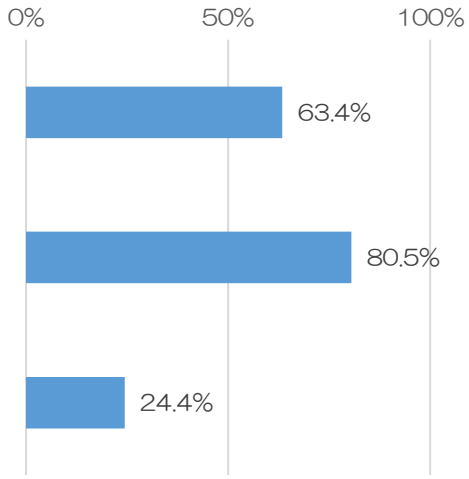
＜年齢別割合＞



「初めて聞いた」が 63.0%と最も多く、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 21.9%、感震ブレーカーを知らない、または内容を十分に理解していない人が約８５%と高い割合であることが分かりました。

問１４　「問１３」で「１　知っている」と回答した方に質問です。
感震ブレーカーについて、どのような内容をご存じですか。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
地震時の機器の転倒や停電復旧時に発生する「通電火災」を防止する機器	26	63.4%
地震を感知すると自動的に電気を遮断する機器	33	80.5%
分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易型タイプがある	10	24.4%

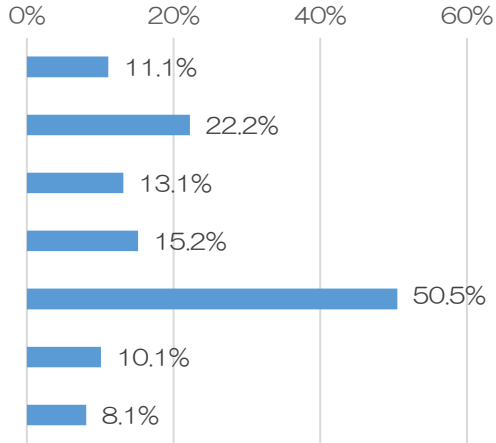


（回答者数：41 人　有効回答数 69）

感震ブレーカーについて知っている内容として「地震を感知すると自動的に電気を遮断する機器」が 80.5%、「通電火災を防止する機器」が 63.4%である一方で、感震ブレーカーの種類について知っている人は 24.4%となっており、感震ブレーカーを知っている人でも、種類については認知度が低いことが分かりました。

問 15　「問 13」で「1　知っている」「2 名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」と回答したかたに質問です。どのようにして感震ブレーカーについて知りましたか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
長崎市ウェブサイト	11	11.1%
新聞や雑誌	22	22.2%
家電量販店、建築業者、住宅メーカー等の業者	13	13.1%
家族、知人	15	15.2%
テレビ	50	50.5%
SNS（LINE や X 等）	10	10.1%
その他	8	8.1%



（回答者数：99 人、無回答１人　有効回答数 129）

※「その他」の意見

・インターネットで検索して知った。
・仕事や電気関係の業務を通じて知った。

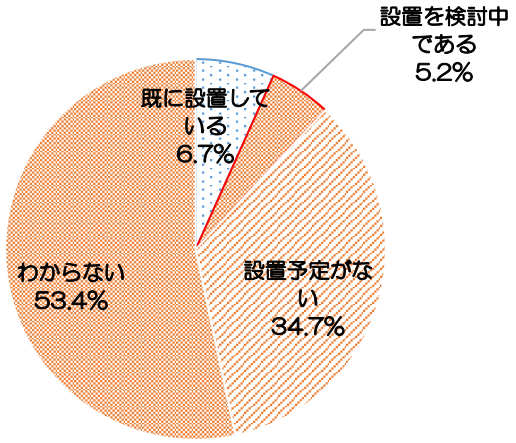
・元職の関係で地震対策を調べた際に知った。
・どこで知ったか覚えていない、または分からない。

「テレビ」が 50.5%と最も多く、次いで「新聞や雑誌」が 22.2%となっている一方で、「長崎市ウェブサイト」は 11.1%、「SNS」は 10.1%となっており、今後は幅広い媒体を活用した情報発信が必要であることが分かりました。

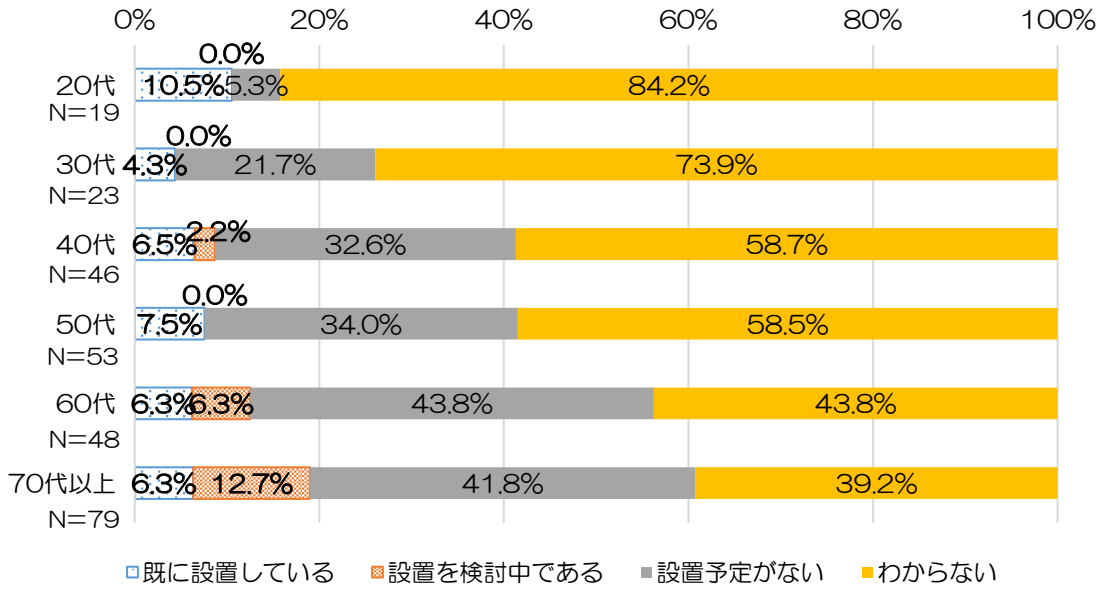
問 16　ご自宅に感震ブレーカーを設置していますか。（設置していないかたは、今後の設置についての考えを選択してください。）（当てはまるものを１つ回答）

選択肢	回答者数	割合
既に設置している	18 人	6.7%
設置を検討中である	14 人	5.2%
設置予定がない	93 人	34.7%
わからない	143 人	53.4%
合計	268 人	100.0%

（無回答２人）



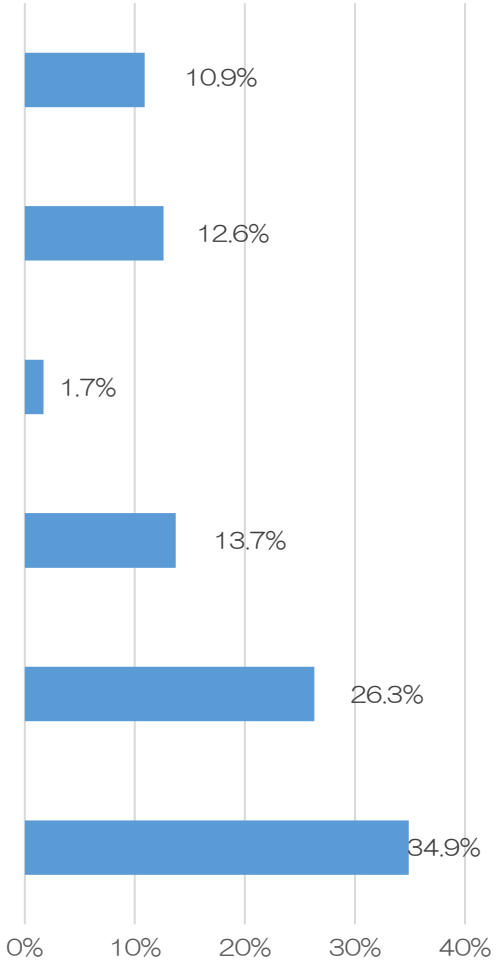
＜年齢別割合＞



「既に設置している」が 6.7%、「設置を検討中である」が 5.2%と低い割合であり、また「設置予定がない」が 34.7%、「わからない」が 53.4%と大多数であることから、市民の皆様が感震ブレーカーの重要性を認識し、興味や関心を持つような周知・啓発を行う必要があるということが分かりました。

問 17　「問 16」で「1　既に設置している」「2　設置を検討中である」「4　わからない」と回答したかたに質問です。今後、感震ブレーカーを設置する場合、どのタイプを設置したいですか。（既に設置しているかたについては設置しているタイプを選択してください。）
（当てはまるものを１つ回答）

選択肢	回答数	割合
分電盤タイプ（内蔵型）[約 5～8 万円、電気工事が必要]	19 人	10.9%
分電盤タイプ（後付型）[約 2 万円、電気工事が必要]	22 人	12.6%
コンセントタイプ（コンセント埋め込み型）[約 5 千円～2万円、電気工事が必要]	3 人	1.7%
コンセントタイプ（コンセント差し込み型）[約 5 千円～2 万円、電気工事不要]	24 人	13.7%
簡易タイプ[約 3 千円～1 万円、電気工事が不要]	46 人	26.3%
分からない	61 人	34.9%
合計	175 人	100.1%



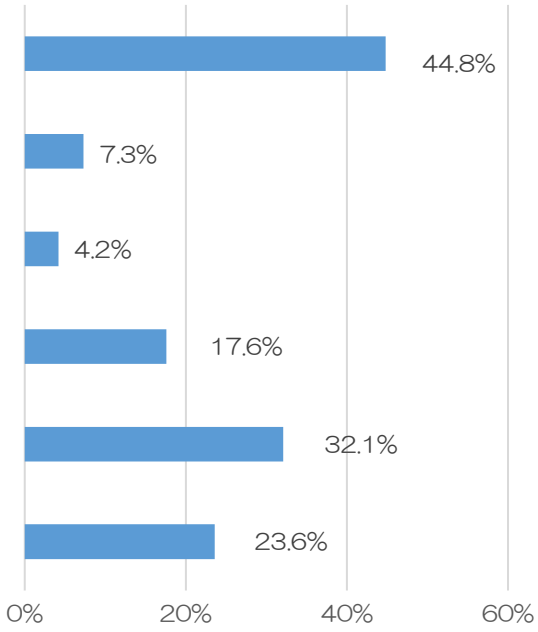
（無回答０人）

「分からない」が 34.9%と最も多く、具体的なタイプを選択できない人が多いことから、種類ごとの特徴、価格、工事の要否等を分かりやすく周知する必要があることが分かりました。

問 18　「問 16」で「1　既に設置している」「2　設置を検討中である」「4　わからない」と回答したかたに質問です。感震ブレーカー設置について、課題や懸念があればお選びください。

（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
購入・設置費用が高額である	74	44.8%
地震の危険性を感じない	12	7.3%
電気火災の危険性を感じない	7	4.2%
電気が遮断されることに不安がある	29	17.6%
設置方法が分からない・難しい	53	32.1%
その他	39	23.6%



（回答者数 165 人、無回答１０人
有効回答数 214）

※「その他」の意見

・感震ブレーカーの必要性や効果、仕組みについて詳しく知りたい。

・どの程度の揺れで作動するのか、誤作動や電気の遮断による不便が心配である。

・購入先や設置業者、設置可能な機種など、具体的な設置方法を知りたい。

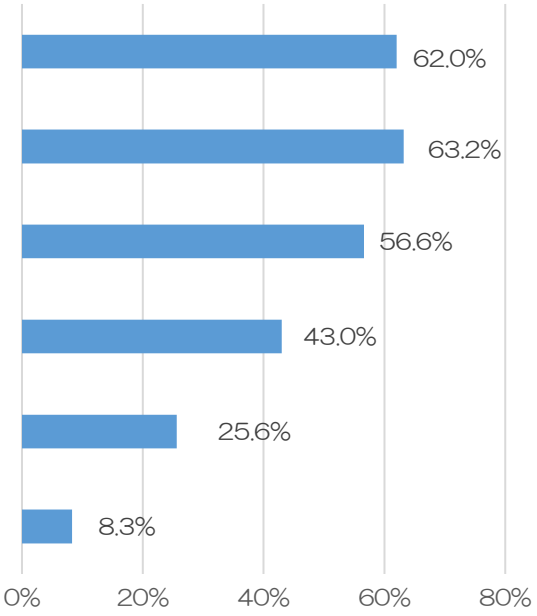
・マンションや賃貸・公営住宅では、個人で設置を判断できないため対応方法を知りたい。

・設置費用への支援や、設置状況・普及率など、設置を検討するための情報がほしい。

「購入・設置費用が高額である」が 44.8%と最も多く、次いで「設置方法が分からない・難しい」が 32.1%となっており、費用負担と設置方法が設置を検討する上での主な課題となっていることが分かりました。

問 19　「問 16」で「2　設置を検討中である」「3　設置予定がない」「4　わからない」と回答したかたに質問です。感震ブレーカーについて、今後どのような情報があれば設置の検討をしやすくなりますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
購入・設置費用についての情報	150	62.0%
実際の効果や事例の紹介	153	63.2%
購入方法や具体的な設置方法	137	56.6%
安全性や信頼性に関する情報	104	43.0%
地域ごとの地震リスク情報	62	25.6%
その他	20	8.3%



（回答者数 242 人、無回答８人
有効回答数 626）

※「その他」の意見

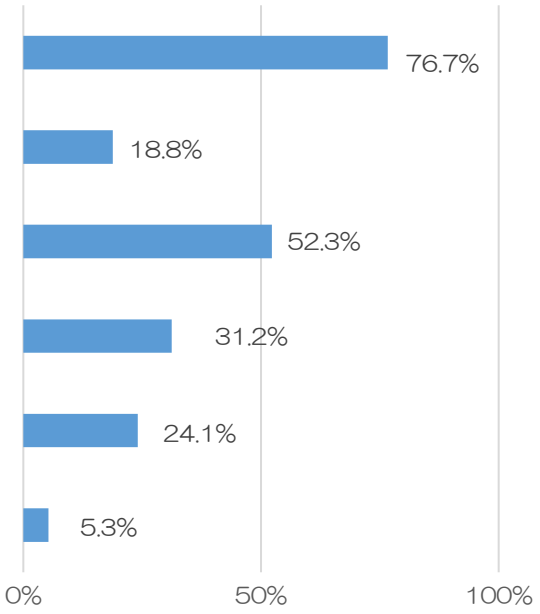
・購入・設置費用への補助や助成制度を設けてほしい。
・作動する震度や機器の種類・性能など、具体的な情報を示してほしい。
・マンションや賃貸住宅など、個人で設置を判断できない場合の対応を示してほしい。
・法律・条例による義務化や、市としての設置方針を示してほしい。
・分かりやすい名称や、住宅に適した機器の選び方・設置方法を示してほしい。

「実際の効果や事例の紹介」が 63.2%と最も多く、次いで「購入・設置費用についての情報」が 62.0%、「購入方法や具体的な設置方法」が 56.6%となっており、効果や事例だけでなく、費用や購入・設置方法など、導入を検討するための具体的な情報が求められていることが分かりました。

問 20　感震ブレーカーの普及を促進するために、どのような取り組みが最も有効だと思いますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
購入・設置費用への補助制度	204	76.7%
防火防災講座や説明会の開催	50	18.8%
市の広報活動の強化	139	52.3%
購入方法、設置業者の斡旋・紹介	83	31.2%
自治会等を通じた推奨	64	24.1%
その他	14	5.3%

（回答者数 266 人、有効回答数 554）



※「その他」の意見

・長崎市の地震の歴史や、全国・地域別の感震ブレーカーの普及状況を知らせてほしい。
・実際の効果や事例、地震による二次被害を防ぐ効果について周知してほしい。
・購入・設置への補助や、設置作業に対する支援を充実してほしい。
・広報ながさき、テレビ CM、ネット広告など、幅広い媒体で周知してほしい。
・マンションの大家や住宅業者等への設置推奨・働きかけを行ってほしい。

「購入・設置費用への補助制度」が 76.7%と最も多く、次いで「市の広報活動の強化」が 52.3%となっており、費用負担の軽減と広報活動の強化が、普及促進策として期待されていることが分かりました。

問 21　その他、感震ブレーカーについてご意見・ご感想があれば自由にお書きください。

・感震ブレーカーの認知度が低いため、必要性や効果について広く周知してほしい。
・作動する震度や仕組み、種類ごとの違い、メリット・デメリットなどを詳しく知らせてほしい。
・設置費用が負担となるため、補助制度の充実や安価で簡単に設置できる方法を

検討してほしい。
・長崎は地震が少ないイメージがあるが、最近の地震も踏まえ、地震や通電火災への備えを進めてほしい。
・マンション・賃貸住宅・高齢者世帯等への対応や、相談先・設置業者など設置に必要な情報を提供してほしい。

感震ブレーカーの必要性や効果の周知、作動条件や種類に関する情報提供、設置費用への補助、マンション・賃貸住宅等への対応などを求める意見があり、認知度の向上に加え、設置を具体的に検討するための情報や支援が求められていることが分かりました。